

## 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 7月分 各業界からのコメント

### ◎建設業

- ・ 工事材料の仕入価格、鉄鋼部材は6月より5%程全体的に上昇。しかし、コロナ禍の影響で食品加工業の生産量が大幅に伸びており、設備投資の一部が盛んである。
- ・ 結果的に当社の売上増につながり、マイナス要因をカバーしている。
- ・ 食品製造業に提案営業戦略を立案し、現在行動している。
- ・ ウッドショックの影響として、ハウスメーカーの一部に工期延長等で見られるが、当社（外構工事下請）への影響は僅少である。
- ・ コロナウイルスの影響で、予定していた工事が先送りとなったりしている。それにより売上及び採算も伸び悩んでおり、若干の利益計上で終わりそうである。
- ・ 来年度はまだ不透明ではあるが、先送りとなっている工事が出てきそうで今年度よりも業況は良くなる見通し。
- ・ 医療機関調達の困難等の事情によりワクチン職域接種の実施は行わない。
- ・ ワクチン接種における休日取扱いや費用補助のルールは策定済み。
- ・ 65歳以下の県内のワクチン接種が遅れ気味のため、各拠点で接種の進捗に差異が広がっている。
- ・ コロナ禍により遅れていたリニューアル工事は再開の兆しがある。
- ・ 先行きの見えない状態であった一部の大規模工事は引続き慎重。
- ・ 今後、元請けからの工事量が増加する。
- ・ 65歳以上を中心にワクチン接種が進んだことでエンドユーザーからの受注が増加している。
- ・ 半面、ウッドショックの影響で木材の仕入価格は急騰、粗利率の低下が今後の課題。
- ・ 昨年1年間は新型コロナウイルスによる影響により売上・利益ともに大きな打撃を受けたが、今年度に入ってから受注状況に回復の兆しが見えてきた。

### ◎製造業

- ・ 鋼材を初めとした資材価格の上昇及び長納期化が続いている。
- ・ ワクチン接種も先が見えてきて、雰囲気は好転しているが、数字には顕著に出てきていない。
- ・ ウッドショック、メタルショックで原材料が不足、あるいは高騰しブレーキになっている。
- ・ コロナウイルスの影響で在宅時間が増えたことで、宅配業者が忙しくなり、宅配用の車を大量に発注している。
- ・ オリンピックが無事終了し、コロナが再燃しないよう願うばかり。景気も底にかかっていると思う。
- ・ 製造業は一部忙しい所も出てきたが、全体としてはまだまだ低調だと言える。
- ・ ただ今のところ、贅沢を言わなければ少しずつ受注は伸びている。
- ・ 今後の鋼材の価格高騰が懸念される。

### ◎卸売業

- ・ 助成金の決済が遅すぎる。3月に提出した終了書類に関して何の連絡もない。国の景気刺激策をもっと期待したい。
- ・ 中小小売店の廃業等、これからの地方の卸売業者はルート営業等のやり方では商売にならなくなる。

- ・原材料高騰や輸送コスト上昇で値上げが続いている。3 ヶ月での再値上げはこれまで考えられなかったこと。
- ・原材料の上昇は今後も続き、製品遅延も出てきている。先行不透明のため設備投資等も慎重。
- ・市内のワクチン接種率は依然低く、飲食業界が厳しいことから、食材を納入する業者も厳しい。
- ・例年に比べ引き合い件数増。
- ・新型コロナウイルスによる影響のため、国内在庫が逼迫し仕入価格が高騰している。

## ◎小売業

- ・新型コロナウイルスの影響により、県内外の飲食店では、お酒の提供が規制されている。
- ・年度代わりの宴会自粛やイベントなども軒並み中止となり、売上は大きく影響を受けている。
- ・一方、巣ごもりによる個人消費は増加の傾向にある。
- ・全体として売上が上向くほどではないため、同業者の廃業も増えており、これでは商店街も成り立たない。
- ・銀行には地域経済を回すためにも、借入れの要件を緩和して申請方法も簡易にしてもらいたい。飲食店だけでなくそこに関わる業種にももう少し、助成金や給付金で支援してもらいたい。
- ・地域のお店応援券の発行などは良いと思う。何とか今を踏ん張りたい。
- ・新型コロナウイルスによる影響のため、令和元年と比較して3割減。
- ・昨年は、4月～5月までの緊急事態宣言明けで6月が好調に推移。
- ・今後は、東京都の緊急事態宣言再発出に伴う影響は少なからずあると思われる中、新潟県のワクチン接種進捗との兼ね合いで、どのように影響してくるか見えない状況が続く。
- ・今年度は半導体不足により新車の供給が不足し、納期の遅れが上期いっぱい続くと思われる。
- ・6月の新車の受注はほぼ昨年並み。反面、中古車の需要は伸びており、比較的好調に推移。
- ・地域のお店応援商品券の使用が7月から12月までなので、売上上昇に期待している。
- ・運賃の上昇分が、仕入単価に響いており2年前に比べ高くなっている。

## ◎サービス業

- ・システム導入・改修については、不透明な景況を様子見している感があり、商談進捗が遅くなっている。
- ・現状のコロナ禍の状況において、ワクチン接種が始まってはいるものの、度重なる緊急事態宣言の発出により個人消費はなかなか回復せず、オリンピックの開催も有効な景気回復の起爆剤となるか不透明な状況。
- ・業績向上は、地域のお店応援商品券・Go To Eatの使用ができて初めて達成されるものと思われる。
- ・1、2年先、支援事業がなくなると見通しは不透明。
- ・一時的にしろインフレ傾向は仕入れ、営業経費の上昇を招く。また最低賃金の上昇など人件費も上昇。
- ・新しい生活様式に準じた店舗の席配置は既存店のみならず今後の店舗採算性に影響がある。
- ・コロナの影響は変わらず悪く、前年比では比較対象にはならない。
- ・円安傾向にあり輸入物品が高騰してきている。
- ・ワクチン接種が上手くいくことを期待したいが、破棄する事態を問題視しなければならない。貴重な品物にも拘らず、全く緊張感が感じられない。
- ・ワクチン接種が進み、コロナの影響が早めに落ち着いてほしい。

- ・県の警報解除や県民割引なども含め、地域経済が動いてこないと当社の環境の好転に繋がらない。
- ・コロナワクチンの職域接種を実施したいが、各地に拠点が分散しており、仮に人数を集められたにしても現場作業を主とする従業員が大半を占めるため、管理が困難となる。
- ・7月のオリンピックが終わり、新型コロナウイルスによる影響がどの様になっていくかで売上他内容が変わっていく。少しでも良い方向へ向かうことを願う。
- ・緊急事態宣言そして新潟県独自の宣言解除、そしてオリ・パラの開会、さらに地域の応援商品券、使っ得！にいがた県民割等、明るい方向へは進んでおり期待感が高まっているが、現実はまだまだコロナから脱却できておらず、本当の意味での回復には程遠い。
- ・タクシーにおいては日中の動きは例年通りに戻ってきたが、夜の需要回復が無く+αが見込めない。昼の仕事を増やすべく努力をし、成果も出ているが、夜の落ち込みをカバーするにはまだまだ足りない。
- ・ワクチン接種が進んでいる中、当施設も7月の中旬より集団接種が行えるようになった。今は、集団接種会場なども増えているが、当初、役所は丸投げで自分たちで協力病院を見つけてくださいと言う運びであった。
- ・今後、ワクチン接種が進み、コロナにかかりにくくなることで、さらに人の動きが出てくると期待している。
- ・最近では、ショッピング施設、万代、郊外店なども日中に関しては、多くの人々が動いているように感じる。
- ・依然として県外活動が制約され、リモートには限界がある。
- ・新幹線は我々業界内でもご法度であり、車で行くにしても無理がある。
- ・ワクチン接種がある程度進まない、営業で出かける人も受け入れる人も及び腰になってしまう。早く接種率が70%以上になってほしい。